

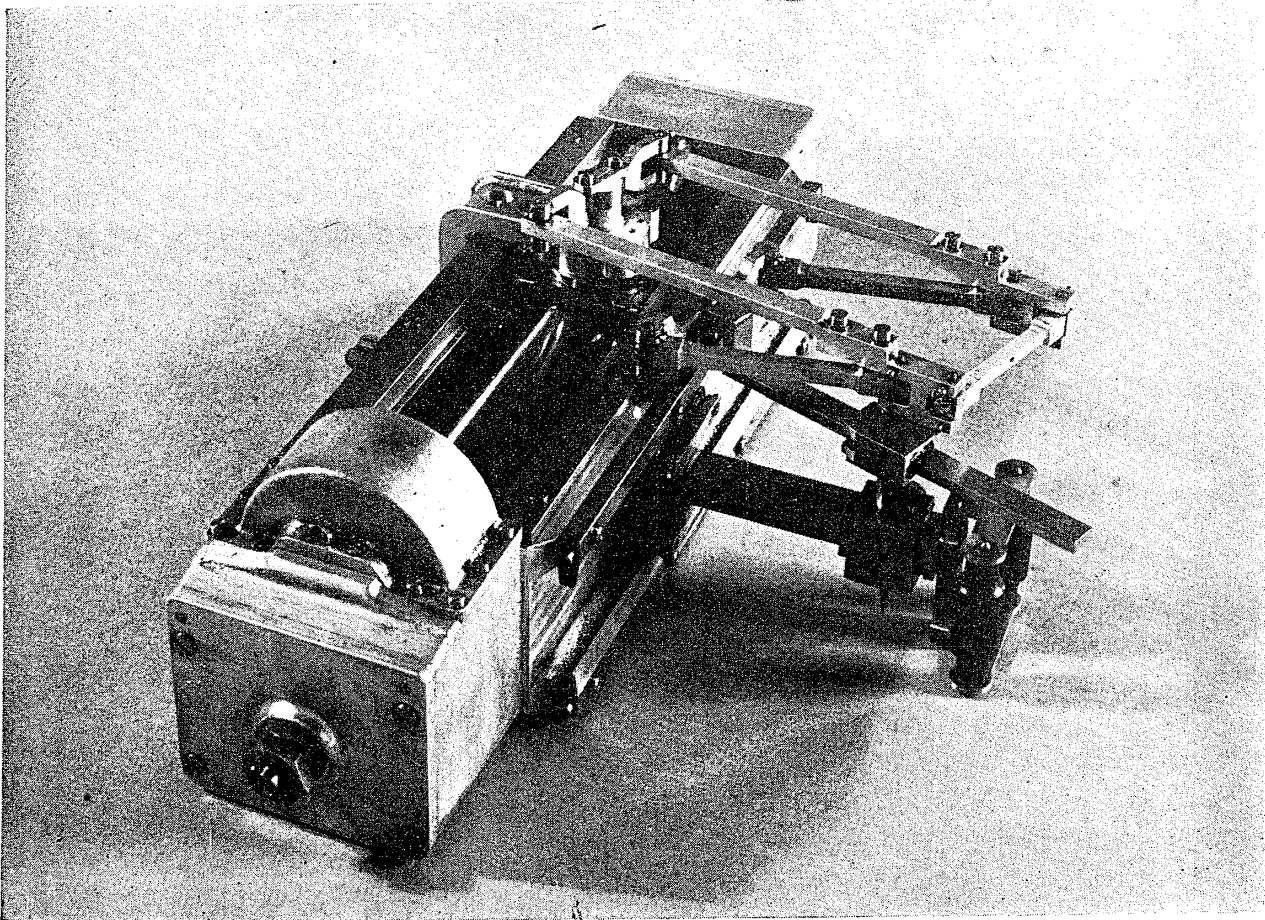
新式インテグラフ

所員 佐々木達治郎

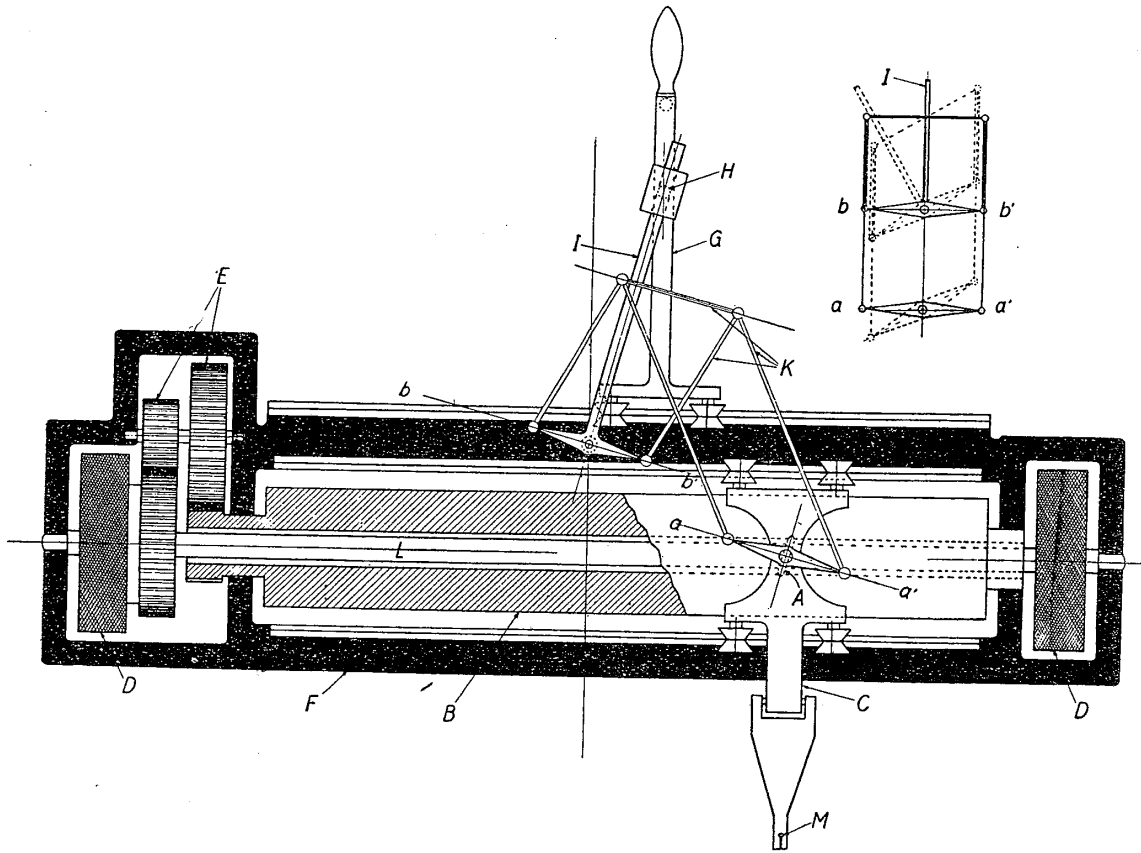
此インテグラフの製作に關しては山崎好雄氏の多大の御援助の程を感謝する。

航空研究に際して Integrator を使用する場合は多々あるが、振動曲線の積分をする場合には普通の Integrator には倍率が小さくて不便な事が多い。新式インテグラフは此不利を去る爲め倍率を大にする様に工夫したものである。

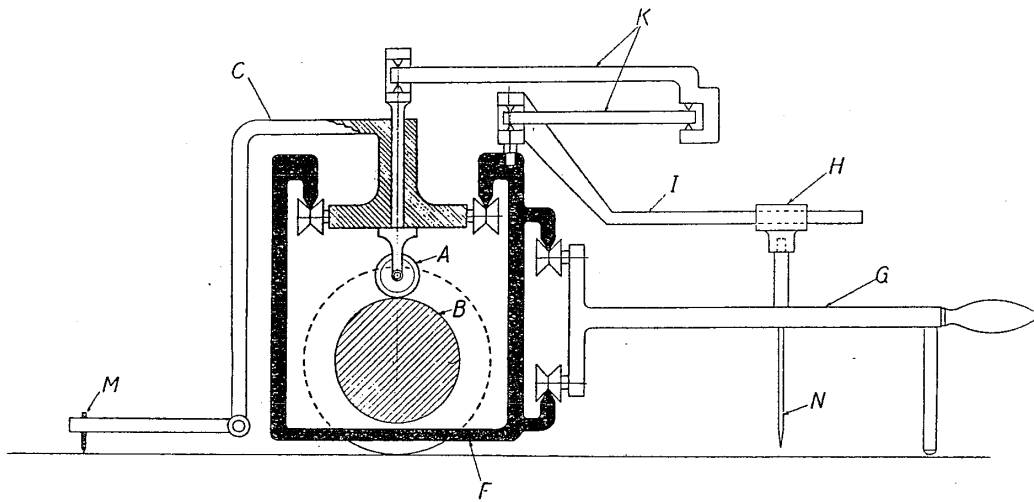
第一圖は其外觀である。其機構は第二圖、第三圖に示す通りであつて、ハンドル G を動して N の尖端が曲線上を動く様にすれば、桿 I の角度が種々に變り之は K の link motion により鋭い車輪 A の傾を I に平行にする。(圖に於て aa' は常に bb' 平行になる様に動く) A は圓檣 B の上を廻轉するのであるが、B は車輪 D に嚙合つた齒車 E により D より速く廻轉する様になつて居る。N が曲線上を動く様にすれば integrator の函 F は引張られ車輪 D は廻轉する。従つて



第一圖



第二圖



第三圖

Bは廻轉し A は其上を廻轉する。それ故 A の傾により臺 C が左右に動く速度が異なる。C には鉛筆 M が附着してあつて紙上に積分した曲線を描く。原理に於ては普通の integraph と大した差はない。